

たくさん積んだ方が得! って本当でしょうか?

いいえ 安全性や維持費が悪化して, 結果として得にはなりません。

生産性

燃費が悪くなります

サイクルタイムが延びます

荷こぼれ・路面損傷

機械維持費

構造物亀裂

コンポーネント寿命
(エンジン, T/M, アクスル)

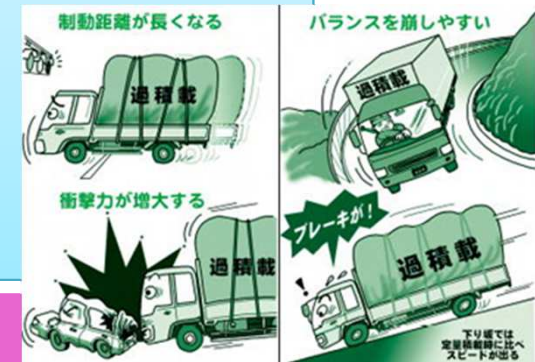
ブレーキ負荷

タイヤ寿命

安全

制動距離

ステアリング



積載できる質量は,

積載質量 = 積載時車両総質量 - 空車質量 (= 本体質量 + オプション質量)

で計算されます。

荷台にライナー材などを貼り補強を行った場合は,
その分積載質量を減らしてください。

同様に, 不要な嵩上げは, その質量分積載質量が
減るので得にはなりません。

例) 積載時車両総質量 70ton
本体質量 32ton, ライナ(オプション) 3ton
➡ 積載質量 35ton

各社, 積載質量を計測する装置(ロードメータ)を用意しています。

積載量管理だけでなく走行時間や距離なども記録できるため, 生産量や運行管理にも活用できます。